

報 告 書

開催日時	令和5年1月14日 19時30分 ～ 20時40分			
自治協議会名	丸柱地域住民自治協議会	開催場所	丸柱地区市民センター	
出席議員	西田方計、山下典子、川上善幸、西條エリ子			
	班長	西田 方計	記録・報告者	川上 善幸
参加人数	26名			

【主な意見・提言等】

(1) 伊賀市長、市議会議員の同日選挙について

- ・経費については、市長選挙では約4,880万円、市議会議員選挙では約9,210万円、合計1億4,090万円。差し引きでは約3,200万円の経費削減となる。
- ・メリット：経費削減、投票率の向上、人の負担の軽減
- ・デメリット：新たな立候補者の準備不足、論点整理の混濁、リコール等が可決すれば投票日がズレる。
- ・同日選挙に関して、参加議員の意見を聞きたい。

(2) 生活道路の安全対策について

- ・中学生の通学路で、丸柱から石川の間には歩道が無く、通学に危険性があり、事実接触事故等がある。
- ・保護者から、安全対策としてバス通学の要望もある。
- ・丸柱、石川間の歩道に関しては30年くらい前から意見を出しているが、昭和55年に県道の改良工事は終わっているため、しばらくは改良の予定は無いとの回答で終わる。
- ・歩道整備が無理なら、せめて通学路にグリーンベルトの設置を望む。
- ・道路には垂れ下がっている草木もあるので、草刈りを適切に行って欲しい。
- ・現状では3名事故で亡くなっているが、丸柱地内の信号機は無くなってしまいうのか。

(3) 消防団について

- ・消防団員の削減をしようとしているが、現状普段のポンプ点検を3名ほどで行っていて負担が大きく、解散を望む声も出てきている。
- ・条例改正で1450名から1410名へと、ポンプ車も115台から103台に減らすのか現場の声を聞くよう、消防団員の人数のあり方は、現場の意見をくみ取って欲しい。
- ・今の火災現場では、市本部の指示が出るまで水を飛ばすことができない。
- ・火災現場での消防団員は、火災の残処理を行っている事が多い。
- ・消防団員は、操法大会参加への負担をもの凄く大きく感じている。
- ・防犯防災等には人が多い方が良いが、式典には全員参加でなく最低限の参加人数で良いと思う。そして消防資機材の管理は退団した人で行うことを提案する。

伊賀市議会議長 様

令和5年1月19日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和4年度 地域意見交換会 2班

班長 西田 方計